

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年10月31日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600123
法人名	特定非営利活動法人ケアサポートHAND'S
事業所名	グループホーム 桃の家
所在地	鹿児島県阿久根市山下4452番1 (電話) 0996-72-3751
自己評価作成日	平成28年9月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年10月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①大自然に囲まれた心地よい空間の中に位置し、遊歩道と四季の変化がご利用者の心身を癒し、自立支援に役立っている。
- ②運営理念「尊厳・思いやり・笑顔」をスタッフみんなで共有し、ご利用者に安心して暮らせる環境を提供している。
- ③心身共に健やかに生きるために、栄養士を中心に、1日3回の食事時間が「楽しく、美味しく、安全」であるように、バランスのとれた献立で、ご利用者の生きる喜びになっている。
- ④黙視的接近法「待つ・見守る・思いやり」で、ご利用者の能力を活かした自立支援に繋げている。
- ⑤地域の行事に参加したり、またグループホームの行事にも地域の方を招待し、ふれあう時間をつくっている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは広い敷地内に同法人の有料老人ホーム、デイサービス、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所があり『人間としての尊厳』を目標に、連携を取り合い相互間の協力体制が整っている。
- ・自治会に加入し、地域の行事のたけのこ祭りや運動会の手伝いに参加している。施設の行事の敬老会や運動会には、地域住民の参加や草刈のボランティア・消防団員の協力等、近隣からは散歩の時の挨拶や野菜や栗の差し入れなどがあり、日常的に地域住民と交流している。
- ・利用者の一人ひとりを良く把握して、残存能力を活かしながら居心地の良い、我が家のような暮らしを支援している。
- ・事業所は専門性を活かし、認知症の情報を発信し、相談や受け入れ等、地域貢献に努めている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを大切にし、資格取得や研修会参加など積極的に資質向上に努めている。

北館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念、介護理念を掲げ、理念に基づいたケアの実践をめざし、毎朝申し送り時に全員で唱和を行っている。	運営理念・介護理念・地域密着型サービス理念を掲げ、玄関・ホール、事務室に掲示するとともにパンフレットやホームページに掲載している。毎朝、申し送り時に唱和、職員研修等で振り返りを行い、理念に沿ったケアを心がけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加、ヘアサロンの活用、いきいきサロンへ参加、又は、自施設の行事参加への呼びかけ等を積極的に行っている。食材などを地域の方から頂くこともある。	自治会に加入し地域の行事であるたけのこ祭りや運動会の手伝いに参加している。施設の行事の敬老会や運動会には、地域住民の参加や草刈のボランティア・消防団員の協力等、近隣からは散歩の時の挨拶や野菜や栗の差し入れなどがあり、日常的に地域住民と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	自施設の研修時、地域の方の協力を頂きその間の見守りをお願いしている。 自施設周辺の下水清掃、草刈り等も行っている。地域行事への協力や参加も行なっている。	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催し、地域の方の疑問点、利用者家族の不安、思い等の解決に向け討議され、その結果、スタッフへの報告もあり、サービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的に行われ、事業所の現状報告やヒヤリハット・事故報告・地域の状況などを話し合い情報交換をしている。出された意見や提案は会議録で職員へ周知、ヒヤリハットなど記録の仕方についての提案があり、様式の変更を行っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者と日頃から連携し、協力関係を築いている。運営推進会議にも参加して頂き、状況報告し、アドバイスも頂いている。</p>	<p>市担当者とは書類関係で定期的に役所へ出向いたり、質問や疑問点など電話で問い合わせ、運営推進会議での現状報告や地域の状況などの情報交換など日頃から連携し協力関係を築いている。ホーム便りを持参している。役所からの情報はメール・ファックスで届き市主催の研修会など積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外出傾向のある利用者に対しては遊歩道を活用し、施設内の自由な散歩をして頂く。昼間も自由に居室への出入可能で一人の時間も楽しんで頂いている。安全確保の為、施錠は夜間のみ行っている。</p>	<p>指針・マニュアルがあり、全体研修は2ヶ月毎に、グループホームでは月1回研修を実施し職員は禁止になる具体的な行為を正しく理解して対応している。玄関は昼間は施錠していない。外出希望の利用者には職員が付き添い、敷地内の遊歩道の散歩や気分転換のドライブなどで対応している。言葉での拘束も含めて身体拘束ゼロを実践している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通し、スタッフ間での知識の共有を徹底、いつも笑顔で利用者の尊厳を守る様努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎朝の申し送りで利用者の状況を話し合いケアに活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	文章にして、利用者、家族に説明すると共に、疑問点や質問などに丁寧に答え、理解、納得の上において交付する様に心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議、ホーム内意見箱などを設置している。 又、面会時に家族の意見を聞く機会を作っている。	利用者からは日常会話の中から思いを把握している。家族については面会時や運営推進会議・家族会・行事参加時に意見や要望を聞く機会を設けている。手紙を添えて近況報告や電話で意見を聞いている。玄関に意見箱を設置するとともに外部も含めた相談苦情の連絡先などの掲示も行っている。要望で部屋の置物についてや散歩をもっとさせて欲しい等が出され、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝のミーティングで、意見や提案を聞き、どの様にしたら良いか、話し合いの機会を設けている。</p> <p>意見、提案等は常時、管理者も個々に聞き入れる体制を取っている。</p>	<p>朝のミーティングや申し送りノート・気づきノート等で意見や要望・提案など聞く機会を設けている。グループホーム会議や全体職員研修でも意見を聞いている。管理者は必要時には個人面談で対応することもある。意見として業務内容の変更や勤務形態・掃除の件等があり、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の勤務状態を考慮し、良い職場環境・条件で向上心をもって働けるようにしている。勤務体制も職員の希望も出来るだけ考慮されている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、必要と考える研修や外部研修の伝達学習を内部研修として行っている。資格も取れるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修に参加したり、他のグループホームへの視察も行い、サービスに活かせる様職員で話し合うようにしている。他事業所からの研修も受け入れ、質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の生活歴や得意分野をアセスメントシートを活用し、スタッフ間で共有、会話を通し本人の思いや要望をくみ取れる様、努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時、家族の思いを聞き、ご本人が今までの生活に近い状態で、心地良く暮らして行ける環境づくりに努めている。 定期的に家族より、意見や要望等を聞きより良い関係作りに活かしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居の時点で何を必要としているのかを家族や本人から聞き必要に応じて他のサービス利用を含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>お互い同等の立場である事を認識し、本人の意思表示に注意を払い、尊厳の気持ちを忘れず、安心して暮らせる様な関係を築いている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の時を利用して、ホームでの状況を伝え、家族からの気づきなども取り入れ、家族に安心して頂く様努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者との話の中に馴染みの人や場所等を入れたり、ドライブなどを取り入れ馴染みの場所に行ったりして関係が切れない様に努めている。	入居時のアセスメントや面会時に家族からの情報で、人や場との関係を把握している。電話の取次ぎ、年賀状の手伝いやドライブを兼ねて自宅周辺を見に行ったり墓参りに同行することもある。美容室は訪問で対応しているが、家族と一緒に行く利用者もいる。面会時はお茶を出してゆっくりしていただき、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士を観察し、座席の配置を変えたり、ユニット移動をしたりして、トラブルを事前に防ぎ、良い関わり合いが出来る様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談が有れば、相談に応じ、おみやみや、お見舞いが有れば、足を運ぶなど契約終了後も関係を密にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族から入所時、希望、意向を聞き、本人からも会話の中から引き出せる様に努めている。本人の視点に立ち全職員が意見交換し、周知する様努めている。	入居時のアセスメントや日常のケアの中の言動や表情から把握するように努めている。入浴の時等、ゆっくり職員と話す機会を作っている。意思疎通が困難な場合は、家族の面会の時や電話で状況を聞き、思いや意向を把握している。申し送りノートや気づきノートで情報を共有し本人の立場に立ったケアを心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、アセスメントシートを活用し、地域の方や家族、携わったことのあるケアマネより情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者、個々の日々の過ごし方、心身状態等の把握に努め、その人に合った接し方、支援方法を職員同士が確かめ合いながら現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	評価表をもとにモニタリングし、毎日のミーティングや、家族会での意見やアイデア、往診時の主治医の意見を踏まえ、介護計画を作成している。	本人や家族の意見や要望を把握して、必要な関係者と話し合い、医師の意見を踏まえ担当者会議を開き、課題とケアを反映させた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化した時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの実践、結果、気づきや工夫を個人記録に記入し、情報を共有しながら、次のステップへの実践や介護計画への見直しへと繋げていく様に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関と連携し、月1回の往診を行っておりホームでの継続した生活が送れる様、又通院、美容、一時帰宅、外出、墓参りなどの支援や、サービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、催し物や資源を利用し楽しく生活を送ることが出来ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の往診を1ヶ月に1回行っている。 家族の希望もあり、入所前からのかかりつけ医へ受診される方もいる。	本人や家族の希望により、今までのかかりつけ医の受診を家族が同行し、必要時には職員が対応している。受診時や往診時には看護師が情報提供を行い適切な医療が受けられる様支援している。緊急時の対応は、連携を密にして適切な医療が受けられるよう支援している。協力医療機関からは月1回往診がある。受診結果は家族と連絡をとり合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のミーティングで状態を看護師に伝えている。隣接している訪問看護ステーションからの協力も頂き適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した場合、できるだけ早期に退院できるように、退院後のケアの方法について病院と家族との情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取り介護について、入居時に説明を行っている。 家族、医師、看護師、職員全体で話し合いが行われ指針の説明、同意書ももらっている。</p>	<p>看取りケアの指針や重度化のマニュアルがある。入居時に説明と意思の確認を行っている。終末期は利用者の状況により、本人や家族・医師と話し合いを重ね、意向を確認している。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時に備えて対応マニュアルを作成している。定期的に研修を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練、避難誘導、通報訓練、消火訓練を行っている。台風など災害が起こる可能性がある場合、事前に対策会議を行うようにしている。</p>	<p>消防署の指導を得て年2回防災訓練を実施している。マニュアルもある。避難誘導や通報訓練・消火訓練等を実施している。スプリンクラーや消火器等の点検をしている。地域の協力体制があり連絡網を掲示している。ソーラー設備や自家発電が整備され、災害時の水やレトルト食品の備蓄もある。今後、地震の時の対応や夜間の避難を課題としている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員の雇用契約時、個人情報の守秘義務を守ることを約束している。</p> <p>入浴、トイレ介助の際、声掛けなどプライバシーに関する配慮は徹底している。</p>	<p>マニュアルを基に入浴やトイレ誘導等、プライバシーを損ねないように言葉かけや対応に配慮している。職員研修の実施や外部研修に参加して、日頃から人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者の希望を取り入れる事が出来る様に環境整備し、観察の中で必要な声掛けをし、意思表示できるよう働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、食事、就寝、起床時間などその人に合わせている。会話からその方の希望を聞きだす努力をしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>自分の好みの服を着たり、選んで着て頂いている。</p> <p>髪のカットを2ヶ月毎に行っている。希望があれば、理容室に相談しお連れしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士が利用者の希望を聞きながら献立を作り、調理者が一人ひとりの状態や能力に応じた、形態や支援を行い、好き嫌いのある利用者には別メニューで対応している。	入居時の嗜好調査を基に旬の野菜などを取り入れ献立を作成、食事形態や代替食の提供など工夫している。外食や行事食・誕生会の食事・中庭での食事・弁当食等、食事が楽しめるよう支援している。個々の能力に応じて下ごしらえや台拭き・片付けを職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が栄養のバランスやカロリー計算をし、献立が立てられている。食事量、水分量も記録し、一人ひとりの状態や力に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを確実にするようにしている。本人の力に応じて声掛けや介助をしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、声掛け誘導を行い、手を出しすぎない介助を行っている。	個々の排泄パターンを把握して、羞恥心や不安のないよう、声かけしてトイレ誘導している。日中は寝たきりの人以外は、トイレ使用である。おむつからリハビリパンツに改善された事例がある。パットの種類の検討など研修会でやっている。自立に向けた支援を心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多くとって頂いたり、出来る範囲で体を動かしてもらい便秘の予防に努めている。主治医と連携し下剤や整腸剤を調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ユニットごとに2日に1回の入浴日になっているが、一人一人の希望やタイミングに合わせて、入浴時間、順番など、個々に応じた支援をしている。	入浴は基本的に週3回であるがその日の都合で柔軟に対応している。必要時には毎日入浴可能な体制となっている。その日の体調や気分に合わせて入浴時間や順番など個々に応じた支援を行っている。拒否のある利用者に対してはタイミングや声かけの工夫をしたり、清拭や足浴も対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣、その時の状況に応じ、午睡の時間を設けたり、日中の活動を促し、夜間安心して気持ちよく眠れるよう声掛けをしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報や薬辞典などにより薬の目的や副作用、用法や容量を理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。変更や新しい薬が出た場合、薬剤師より用法などについてアドバイスを得ている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の能力を活かし洗濯たみや、グランドゴルフ歌をうたったり、楽しみをみつけて気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	遊歩道や中庭に添ったテラスで自由に散歩に出ている。利用者の意見を聞き、そうめん流しや日帰り旅行、地域の運動会や文化祭などに出かけられる様に支援している。	天気の良い日は事業所敷地内の安全な遊歩道をいつでも散歩ができる。広いテラスに出たり、気分転換のドライブや家族の協力を得て墓参りや外食などの外出、地域行事参加や花見等の園外活動など日常的な外出支援が行われている。車椅子の方も希望を把握して、外出を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の要望や能力に応じてお小遣い程度の金銭を所持されている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望により電話をかけた家族からの電話をつなぐことができる。固定電話の設置もできるように差込を各居室作っている。携帯電話の使用もできる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では、不快な気持ちにならない様に皆で楽しめる空間になる様に工夫している。温度、湿度計をチェックして快適に過ごして頂き季節の花や、置き物を飾っている。	落ち着いた清潔感のある雰囲気である。採光や換気に配慮し、温度・湿度計、加湿器等で空調管理がされている。可動式のたたみスペースやソファが置かれ、ウッドデッキから中庭へ自由に出られるなど居心地良く過ごせる環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由にソファへ座りTVをみたり、談笑されたり、畳で横になれる方もおられ思い思いに過ごしておられる。リビングの畳も用途に応じて動かせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人の使い慣れた家具を置いたり、家族写真を飾っておられる方もいる。テレビや机を置き、自宅で習慣にしていたことをされている方もおられる。	居室には・ベット・エアコン・洗面台が備え付けられ、高窓で明るく落ち着いた雰囲気である。使い慣れた品物を持ち込み、家族の写真や手芸品・人形・花が飾られている。位牌を持ってこられている利用者もいる。本人が居心地良く過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はスロープ、手すりがあり安全に移動する事が出来る。居室入口には名札があり確認して部屋へ入る方もおられる。各部屋に、洗面台を設置している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない